



みなさんと議会をつなぐ



議会だより

平成30年 2月
発行：比布町議会
編集：議会広報特別委員会



PIPPU TOWN ASSEMBLY



笑顔晴れやかに
成人の門出祝う！

比布町成人式 1月7日

審議結果「12月定例会」

- 町長退任、就任あいさつほか…………… 2～3
- ここが聞きたい！一般質問…………… 4
- 委員会の活動報告…………… 6～8
- ぴっぷのキラリ☆輝く町民活動を紹介… 9
- 議会のうごき…………… 10

第4回 定例会

12月7日
次のとおり
決まりました



人 事

◆教育委員会委員の任命

委員の辞職に伴い、後任に牧野充記氏（新任）を任命することとで同意しました。

規約変更

◆上川中部介護認定審査会共同

設置規約の変更

◆上川中部障害支援区分審査会
共同設置規約の変更

◆当麻町、比布町、愛別町及び
上川町における上川中部基幹
相談支援センターの共同設置
に関する規約の変更

現在の共同設置にかかる執務場所は、当麻町役場であり、現在改築中の庁舎は、完成後、執務場所が2つの住所にまたがることに伴い、住所表記を改正するもので、原案のとおり可決されました。

条例制定

◆比布町学校教育施設整備基金
条例の制定

文部科学省の財産処分に関する通知に基づき、学校教育施設の整備に必要な資金を積み立てるための新たな基金条例を制定するもので、原案のとおり可決されました。

補正予算

◆平成29年度比布町一般会計補
正予算（第6号）

民間住宅の入居促進を図る移
住・定住対策事業9148万円

が主な増額で、原案のとおり可決されました。

◆平成29年度比布町国民健康保険特別会計補正予算（事業勘定）（第3号）

平成30年度の保険事務広域化に伴う国保関連事業業務の統一化に向けた事務処理委託料70万円を増額するもので、原案のとおり可決されました。

◆平成29年度比布町介護保険特別会計補正予算（第3号）

介護保険制度改正に伴うシステム改修委託料153万2千円を増額するもので、原案のとおり可決されました。

○伊藤町長退任あいさつ

本定例会において、今期限りで退任される伊藤喜代志町長からあいさつがありました。



伊藤喜代志町長
退任にあたり

私の任期も平成30年1月14日で満了となり、任期満了をもって町長職を辞することとしていますが、皆さまには3期12年間にわたり、お世話になりました。首長として、十分な能力を持ち得ない私が、12年もの間、町長職を務めることができたのは町民の皆さまの温かなご支援とご理解、そして議員の皆さまのご指導があったからだ、心から感謝とお礼を申し上げます。「厳しい」と言うことが多すぎると議会でもお叱りをいただきましたが、本町も含め、地方自治体を取り巻く情勢は厳しい状況と言わざるを得ない現状だと感じています。今後、多くの困難を乗り越えなければならぬ状況だと思いますが、行政と議会が町民の皆さまの思いや求めるものをつかりと受け止め、議論を深め、連携をしながら、町民の皆さまの協力を得て、まちづくりを進めていけば、解決策は必ず見つかると思いますし、良いまちづくりができるものと確信しています。あらためて、お世話になりましたことに心から感謝とお礼を申し上げます。

第5回臨時会

11月 27日

◆議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

◆特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

人事院勧告に基づき、議会議員及び特別職の6月、12月に支給する期末手当の割合をそれぞれ100分の5ずつ引き上げる改正で、原案のとおり可決されました。

◆職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

人事院勧告に基づく職員給与及び期末・勤勉手当等の改正で、原案のとおり可決されました。

+++++++
みなさんも比布町議会を傍聴しませんか
+++++++

次回の議会定例会は3月に開会の予定です。
くわしい日程は、無線放送等でお知らせしています。

平成30年 第1回臨時会

11月 17日

◆副町長の選任

任期満了に伴い、引き続き、植村勇氏が選任され、全会一致により同意されました。

◆平成29年度比布町一般会計補正予算(第7号)

ふるさと応援寄附金事業350万円が主な増額で、原案のとおり可決されました。

●●●●● 各会計補正額と補正後の総額 ●●●●●

会計区分	補正額	補正後の総額
一般会計(第6号)	109,488千円	4,855,650千円
(第7号)	3,500千円	4,859,150千円
特別会計 国民健康保険(第3号)	700千円	668,989千円
介護保険(第3号)	1,532千円	599,845千円

() 内は補正回数

○村中町長就任あいさつ

本臨時会では、1月15日に就任した村中一徳町長から所信表明がありました。



村中一徳町長
就任にあたり

この度の選挙におきまして、町民の皆さまのご支援をいただき、比布町長として町政を担わせていただくこととなりましたが、あらためて、その責務の重さを感じているところです。

議会と行政の関係は、「車の両輪」とも言われていますが、町議会は最高決議機関であることを深く認識し、意思の疎通を十分に図りながら、比布町の未来、そして、町民の生活向上を第一に考えた議論を重ね、議会・町民・行政が一体となったオール比布の体制で、町政の運営にあたりたいと考えています。

昨年の選挙を通し、私は地方消滅と人口減少対策について訴えてまいりました。地方創生と相反し、地方消滅と言われてお

り、地方創生ができない自治体は、いつか、消滅してしまう可能性があります。そうならないよう、私は、人口減少対策を最重要課題として訴えてまいりました。それは、単に移住政策だけを進めるのではなく、今、比布町に暮らす町民の皆さまが、「住んでよかった」と思えるまちづくりを進めることによつて移住を希望される方が「住んでみたい」、そう思える比布町を目指すものです。

平成29年度は、現計予算の確実な執行に努め、平成30年度予算については、第11次まちづくり計画の最終年度でもあり、これまで継続された事業を優先しつつ、この度の選挙を通じ、町民の皆さまからのご提言や私の公約も含めて編成できるよう、最大限の努力を尽くします。

どんな小さなことでも改革と進化を繰り返し、これまで、皆さま方が大切に引き継いでこられた比布町を消滅させることなく、未来の子どもたちにも誇れる比布町となるよう、町職員とともに、全力を注ぐ所存です。で、議員並びに町民皆さまのご指導とご協力を、あらためて、心からお願ひ申し上げます。



ここが聞きたい！ 一般質問



Q

子どもと町民への受動喫煙防止と禁煙教育について

A

学校では禁煙教育を実施しているが町としても受動喫煙対策を研究検討する

遠藤議員 受動喫煙を受けている人が肺がんになるリスクは、受けていない人の1.3倍です。

受動喫煙を原因とする国内の死亡者は、毎年1万5千人、交通事故致死の4倍にのぼります(国立がん研究センター発表)。

厚生労働省の研究によれば、受動喫煙で肺がん、虚血性心疾患、脳血管疾患を誘発されたことによる超過医療費は、年間3千億円を超えています(2014年度発表)。

日本の受動喫煙対策の到達点は、WHO(世界保健機関)に「世界最低レベル」と分類されているのが実状です。子ども、がんと患者、ぜんそく患者などを受動喫煙から守る飲食店の全面禁煙、通学路・公園・マンション共有部分、自宅やマイカーを含め、受動喫煙から子どもたちを守るための規制も必要です。学校教育での授業で「たばこについて」の内容と生涯学習と

しての「たばこの現状と教育」についてお伺いします。

谷教育長

学校教育での授業

で「たばこについて」ですが、文部科学省では、たばこの煙による健康への悪影響から児童・生徒等を守るため、2010年に「学校等における受動喫煙防止対策及び喫煙防止教育の推進について」を各学校に通知し、受動喫煙防止対策を推進し小・中学校において校舎内禁煙とし、国や北海道の動きを踏まえ、本年度2学期から学校敷地内禁煙を実施しています。

また、授業内容については、小学6年の体育で「病気の予防」という単元において「喫煙の害と健康」について1時間の授業。中学3年の保健体育で「健康な生活と病気の予防」の単元において「喫煙の害と健康」や「喫煙・飲酒・薬物乱用の要因と適切な対処」を2時間の授業により喫煙等の害について、正しく理解することができるよう学習

指導要領に沿った教育が行われています。

生涯学習としての「たばこの現状と教育」は、これまで町民の健康増進に向けた取り組みとして、「健康講演会」の実施や白寿大学における心身の健康に関する集合学習などを開催していますが、受動喫煙防止などの禁煙教育に特化した学習は行っていないのが現状です。

なお、2013年に保健福祉課が策定した「健康びっぷ21」に基づき、喫煙対策としてたばこのリスクに関する教育・啓発の推進や禁煙支援の推進対策として、健康診査・特定健診等の結果に基づいた個別指導を実施しています。

受動喫煙防止対策の実効性をもって継続的に推進するためには、社会全体として取り組むという機運を醸成することが重要であり、町民の皆さんの理解と協力を求めるとともに、たばこの健康への悪影響や禁煙を促す

方法等について、注意喚起のポスターを掲示して普及啓発を行うなどの対策を進めています。

遠藤議員 北海道のホームページを見ると、最終的には喫煙者を減らして健康増進に向けていきたいと書かれています。

「たばこのない社会」と「たばこを吸う人を見ない社会」が子どもたちへの最大の教育になると考えますが、どのようにお考えでしょうか。

谷教育長

たばこを吸う人と吸わない人たちが、たばこについて互いに理解をしながら、たばこを吸わない人たちに影響を与えないような社会的な仕組みづくりを進めていくことが何よりも重要だと考えます。

現在、厚生労働省も案は出していますが、残念ながら、まだそこまではいっていないというような状況にもありますので、今後の国、道の動きを踏まえ、町としてどう

いう対策をしていくかということを研究・検討をしていきたいと思えます。





現地調査を実施 中学校校舎・武道場改築工事

11月27日、議会議員が中央小学校校舎に隣接する中学校校舎・武道場改築工事の現地調査を行いました。
 工事担当者から、本年6月の完成に向けた工事の進捗状況の説明を受けた後、工事現場を視察しました。

委員会の活動

総務常任委員会

▼▼▼ 11月27日開催

【総務企画課】 《協議事項》

▼第5回議会臨時会提出議案について

- ・ 議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
- ・ 特別職の職員の給与に関する条例の一部改正
- ・ 職員の給与に関する条例の一部改正

▼▼▼ 11月28日開催

【税務住民課】 《報告事項》

■平成29年度町税等の調定及び収入状況について
 (10月末現在)

- ・ 町民税 8340万617円
 収納率54・53%
 (以下〓収納率)

・ 固定資産税 7968万3885円
 (59・54%)

・ 軽自動車税 1256万206円
 (96・54%)

・ たばこ税 1451万3664円
 (100%)

・ 国民健康保険税 5127万6007円
 (36・20%)

・ 介護保険料 4776万5600円
 (95・70%)

・ 後期高齢者保険料 1725万2000円
 (80・95%)

■上川広域滞納整理機構について(9町合計)
 ・ 全体引受件数 214件
 1億2266万5755円
 うち収納額

2673万807円
 (21・79%)

・ 比布町引受状況 829万4015円
 20件

うち収納額

187万5321円

(22・61%)

《協議事項》

▼一般会計補正予算(案)について

・社会福祉費・国民年金費

33万5千円の増

【保健福祉課】

《報告事項》

■高齢者等の門口等除雪事業申込状況について

・除雪サービス事業

申請世帯数89世帯

(前年度84世帯)

・門口除雪サービス事業

申請世帯数96世帯

(前年度104世帯)



■各種健康診査受診状況について

(10月末現在)

・子宮がん検診対象者1771人

受診者191人 (10・8%)

・乳がん検診対象者1655人

受診者216人 (13・1%)

・その他検診受診状況について

■各医療費について

■介護保険事業利用状況について

《説明及び協議事項》

▼新国民健康保険制度関係について

平成30年度から国保制度が都道府県に移管されるため現在、国の予算確定後、平成30年2月上旬を目途に納付金の確定額が市町村に通知され、その後算定する予定です。

▼第7期比布町高齢者福祉・介護保険事業計画策定に向けて

平成27～29年度にかけて第6期計画が策定されたが、平成30年度以後3年間の新たな計画が策定されます。

▼第4回定例会提出議案について

・上川中部介護認定審査会、同障害支援区分審査会、同基幹相談支援センター、共同設置に関する規約の変更について

・一般会計補正予算(案)について

・国民健康保険特別会計補正予

算(案)について

・介護保険特別会計補正予算(案)について

【生涯学習課】

《報告事項》

■比布町小中一貫教育基本方針(案)について

この方針は、義務教育6、3制の枠組みは維持しつつ、9年間を一つのスパンとして捉え、各学年での発達段階に応じた連続性・系統性を踏まえたカリキュラムを編成し、一貫した教育活動を目指します。

■比布中学校校舎改築事業の進捗状況について

平成29年3月10日から30年6月30日までを工期として、校舎及び武道場改築工事の進捗を視察しました。

現場は、駆体の最終コンクリート打設が終了し、工程は3週間程度の遅れが生じているが、休工期間にコンクリート養生を行うため、全体工期への影響はないようです。

■平成30年度就学予定児童について(11月28日現在)

男子児童12人・女子児童16人

■全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告」について

・中央小学校

国語では、すべての領域で全国を上回り、算数Aではすべての領域で、算数Bでも数と計算数量関係で全国を上回っている。

※児童の学力向上は、ダブルレートの導入や中学校教諭の前置り授業、本町在住教職員OBの協力による「ぶっくん寺子屋」等の基礎・基本の着実な定着が成果とされる。

・比布中学校

国語、数学ともにすべての領域で全国を上回る。

※小学生からの基礎学力の定着及び、民間学習塾との連携によるチャレンジゼミ等の取り組みが成果とされる。

■君の夢プロジェクト推進事業について

▽吹奏楽部(8月2日) 事業完了

▽剣道部(8月3日) 事業完了

▽野球部(9月16日開催)

・参加人数11人

・元プロ野球選手による技術指導・プロ野球観戦

・事業費 18万970円

▽ソフトテニス部(10月29日開催)

・参加人数27人

・ヨネックス所属・桂拓也選手より技術指導、札幌市で開催のヨネックス協賛、国際大会

・参加人数27人

・ヨネックス所属・桂拓也選手より技術指導、札幌市で開催のヨネックス協賛、国際大会

・参加人数27人

・ヨネックス所属・桂拓也選手より技術指導、札幌市で開催のヨネックス協賛、国際大会

観戦
事業費
7万6983円



熱心に指導を受けるソフトテニス部

- ▽卓球部（11月18日開催）
 - ・参加人数11人・少年団4人
 - ・北海道アステイダ所属・萩原典和選手ほか3選手による技術指導
 - ・概算事業費 11万円
- ▽平成29年度総事業費見込額 212万4599円
- 《協議事項》
- ▽比布町学校教育施設整備基金条例（案）について
- ▽一般会計補正予算（案）について

【総務企画課】
《報告事項》

- 比布町功労表彰について
工藤 澄子氏（寿町）
- ふるさと納税について
- ▽平成29年度実績（11月末）
134件 790万円
（28年度 78件 667万円）
- ▽平成29年度目的別実績（11月末）
 - ・教育 70件 563万円
 - ・高齢者福祉10件 19万円
 - ・自然環境 14件 29万円
 - ・産業振興 8件 93万5千円
 - ・その他 32件 85万5千円
- 平成30年度職員採用について
- 《協議事項》
- ▽比布駅における駐車スペースの確保について
現在、体の不自由な方、足腰の弱い方への配慮として、駅出入り口付近の車両駐車スペースの設置について検討中です。
多くの町民が気軽に利用することができ、賑わいに参加していただくために。
- ▽空き地・空き家流動化促進事業の状況について
- ▽比布町型賃貸住宅建設促進事業要領の制定について
- ▽第4回定例会提出議案について
・一般会計補正予算（案）について

産業建設常任委員会

11月30日開催

《農林部門》

《報告事項》

- 米出荷・青果販売の実績について
- ▽米出荷（11月21日現在）
7万8千俵
- ・農協
- ・ライスターミナル2万3千俵
- ・持ち帰り検査1万1390俵
- ・山森産業㈱ 950俵
- ※おおむね豊作と判断できる実績と思われまます。
- ▽青果販売
青果については、オクラ、大根、あじうり等の出荷量が伸びたが、水菜は少し減少傾向。
■経営所得安定対策等交付金交付状況について
- ▽直接支払交付金
・畑作 6183万円
・米 8487万円
- ・水田活用 1億9894万円
- ▽産地交付金
・道枠 1億3138万円
・地域枠 1億3127万円
- 町単独補助事業状況について
・そ菜・花卉作付拡大推進事業、青果物等、振興事業対策、死へい牛適正処理事業、青年

農業者支援事業等が、継続実施されました。

・JAぴっぷ町に対し、穀類乾燥調製施設増強工事補助交付として、事業費の50%（7550万円）を交付しました。

■新規就農状況について
現在、農業研修中の島山俊氏に対し、居住支援と事前研修支援が交付されています。

《協議事項》

▽平成30年度産米政策見直しに向けた対応について

国が主導する米生産調整が、平成29年に終了するのに伴い、北海道農業再生協議会が、「生産の目安」を提案し、それに各農業団体は「生産販売計画」を策定し、各生産者に割り当てを示すこととなります。米の直接払いはなくなるが、その他の産地交付金等をフル活用して、実質的には、生産調整が行われると思われまます。

他県の動向を注視し、売れる米を生産する。売れる米はブランド米ばかりではなく、業務用米（きらら397など）、加工米も需要が高まっています。

▽一般会計補正予算（案）について
▽平成30年度予算編成について

【商工・観光部門】

《報告事項》

■平成29年度各観光施設の利用状況について

・遊湯びつぷ
宿泊者に関しては、ビジネス客の利用が伸び健闘しているものの、日帰り入浴者が前年より5%程度減少。町民入浴券の使用も約70%と低迷しています。
・グリーンパークびつぷ
利用者は前年並みだが、テニスコート、多目的広場の使用は低調。この2施設に関して、用途の変更が必要と思われます。

キャンプ場は、熊出没に伴い、夏休み期間中、3日休場したが、利用は多かったです。
・ぴつぷスキー場
シーズン券販売は、おおむね良好であり、特にクレジットによる販売が伸びています。

従業員の雇用に苦慮。町内に限定せず、町外者や派遣会社にも募集をかけています。

《協議事項》

▼大雪カムイミントラDMOについて

旭川を中心とし、1市7町において、観光で地方創生を目指します。ただ、具体的な方向性が見えていないため、今後の動きに

注視していく必要があります。

▼一般会計補正予算(案)について

・遊湯びつぷの決算書が提出され、791万円の不足が示されました。さまざまな意見が出されたが、管理委託料を増額補正することに決定。

・駅前到新規出店の店舗政策支援として、200万円を増額補正することに決定。

▼平成30年度予算編成について
▼良佳村エリア再整備計画について

営業収入の減少、設備の老朽化、スキー場町直営の問題などを、どのように改善、または変更していくのかなどを協議しました。



良佳村エリアの多目的広場

【建設課】

《報告事項》

■町内建設工事の発注及び進捗状況について

おおむね順調。中学校改築工事に少し遅れがあるが、1月中旬には取り戻せる予定との報告を受けています。

■平成29年度除雪計画について
前年同様な計画となっているが、毎年問題になっているため、駅前通りとバス路線(比布神社前)は道道だが、通行に支障がある場合は、本町で除排雪を実施。

■まちづくり懇談会での意見・要望事項について
樹木の枝払い、舗装の補修、公園遊具の改修などの要望が9件あったが、すべて改修・改良を終了しました。

《協議事項》

▼新団地整備計画について

・東団地を改修して、町民の居住を確保し、より快適な生活に寄与します。

・1階部分を1LDK、1ルームなど、一人暮らしの方々に対応し、部屋数を多くする提案に対し、協議。計画の見直しを再提出するよう要請しました。

【農業委員会】

《報告事項》

■平成29年産水稻生産量の調査結果について
10㊦当たり平均収量556kg
(前年554kg)

■農用地集積状況について
貸貸・売買合計27件、面積7417㊦であり、農地集積は活発な状況です。

〓おわび〓 議会だより(第88号)について



昨年12月6日に発行の「ぴつぷ議会だより」の10ページに掲載しました平成28年度決算審査の中で、「補助金を受けて作ったホールクロップの半分は売り物にならないようだ」との質疑内容を掲載しましたが、生産者の方々から「出荷を待っている状態の物」とのご指摘をいただきました。
関係者の皆さまをはじめ、町民の皆さまに心よりおわび申し上げます。

議会広報特別委員会

委員長 遠藤ハル子

ぴっぷのキラリ☆輝く町民活動を紹介

赤ちゃん先生プロジェクト

ママの働き方応援隊ぴっぷ校が開校！



★ママの働き方応援隊とは…

ママの働き方応援隊（ママハタ）とは、地域を幸せにする「ぴっぷ町エクスマ化プロジェクト（エクスマ）」の塾生である恵夕喜子さんが立ち上げた組織で、「赤ちゃん先生」をはじめとする子育て中の今がメリットになる働き方をつくることを目的に活動する団体です。

エクスマからのご縁で、支部となるぴっぷ校を開校し、北海道で初となる「赤ちゃん先生プロジェクト」を進めています。

2007年に旗揚げされたママの働き方応援隊は神戸市に本部を置き、NPO法人として運営しています。

2012年に兵庫県で「赤ちゃんの持つ力を活かした仕事をつくれればよい」という発想から、「赤ちゃん先生」という事業を立ち上げ、全国に広がっています。

以前から、全国的に子育てをする母親の環境を良くしようとする動きが活発になっていることは知られていることと思います。

母親になると育児に集中しなくてはならないことから、仕事や友人と会う機会が少なくなりがちで、なんとなく社会との距離ができてしまいます。

それをママハタが企画するさまざまな「イベント」や「仕事」で、ママの活躍の場を設け、また子育て中のママの輪を広げるなど、ママが楽しく有意義になることを目的にみんなで考え、企画し、盛り上げようとしているのです。

★どんな活動をしているの？

ママハタの活動は、全国的にも新聞やテレビなどで取り上げられ、それぞれの地域で注目されています。

ぴっぷ校は、昨年7月に立ち上げました。

比布町や旭川市での説明会のほか、比布町をはじめ、近隣市町で赤ちゃん先生クラスを開催し、好評を得ています。また、昨年11月には、町農村環境改善センターで「ママフェス」を開催するなど精力的に活動しています。

今後、ますます活躍の場が広がり、さらに参加したいママの輪も広がり、比布町を中心に道北地域の活性化に一役買うものと思います。

★「赤ちゃん先生プロジェクト」について

神戸市で始まった赤ちゃん先生プロジェクトは赤ちゃんが生まれながらに持っている癒やしの力、人を和ませる力、そして人間の活力を引き出す力を活かし、学校などの教育機関、さらに高齢者施設など、幅広い場で活躍しています。

☆こんなにいいことが…

*ママ

社会とつながりママである能力を発揮した働き方ができる

*小・中学生

命の大切さを感じとり、自己肯定感を高め、いじめを防止する

*高校・大学生

ライフプランを考え、親になる準備をする

*高齢者

赤ちゃんの無垢なかわいらしさから元気やほろけを感じるとともに、母親への知恵と文化を継承する

*赤ちゃん

たくさんの人との関わりで社会力が身につく

★活動に参加したい、くわしく知りたいときは？

下記までお問い合わせください。

■事務局：比布町役場保健福祉課福祉係

☎85-4804(内線118)

議会のうごき

12 月

- 1日 ぴっぶスキー場開場式
(ぴっぶスキー場、全議員)
- 4日 議会運営委員会 (役場、委員・議長)
- 5日 大雪浄化組合議会定例会 (役場、組合議員)
愛別町外3町塵芥処理組合議会定例会
(役場、組合議員)
- 6日 産業建設常任委員会 (役場、委員・議長)
- 7日 第4回議会定例会 (役場、各議員)
- 21日 比布駐在所開所式 (駐在所、議長)
- 22日 大雪消防組合議会定例会 (美瑛町、組合議員)
- 23日 宗谷本線活性化推進協議会 (名寄市、議長)

- 17日 産業建設常任委員会 (役場、委員・議長)
総務常任委員会 (役場、委員・議長)
議会運営委員会 (役場、委員・議長)
第1回議会臨時会 (役場、全議員)
- 18日 上川町村議会議長会役員会 (旭川市、議長)
- 22日 比布商工会新年交礼会 (商工会館、議長)
- 23日 議会広報特別委員会 (役場、委員)
- 26日 上川中央部市・町議会議長会定例会議
(愛別町、議長)
- 30日 議会広報特別委員会 (役場、正副委員長)
大雪浄化組合議会臨時会 (役場、組合議員)

2 月

1 月

- 5日 比布消防団出初式
(比布コミセン・改善センター、各議員)
- 7日 第69回比布町成人式 (改善センター、全議員)
- 13日 北口ゆうこう道議と語る新春の集い
(士別市、議長)

- 5日 上川教育研修センター組合議会
(旭川市、議長)
- 6日 道北地方森林・林業・林産業活性化推進
議員連盟連絡会政策研究会
(旭川市、産建副委員長)

◆ 編集後記 ◆

昨年選挙で比布町の新しい町長が決まり、新たな行政運営に期待が大きい。
しかも、元々比布町の役場で課長職を務めていた方が町長を引き継いだということは、滞りのない行政運営に期待が持てる。

そこで、われわれ議会の役割を改めて問う必要が生じると思う。

そもそも町民の声を広く、そしてできる限り多く届けるのが議会の役割であり、それに基づいて行政運営がしっかりとなされているのかを確認し、もし行政が設けた基準が住民の期待とかけ離れているのであれば、少しでも改善するように働きかけるのが議会の役目ではないかと思う。

そして、さらにその議会をチエックするのは住民に課せられた義務でもあると思う。さもなければ、次の選挙に誰に投票してよいものか判断は付かないのではないか。

昨年日本経済新聞に画期的な議会改革の記事が掲載されていた。

長野県喬木(たかぎ)村の例だ。
なり手があらず、会議で意見も出ず、困り果てた議会は議長みずから音頭を取り、夜間や休日にも議会を運営することを提案した。

そこで誕生したのは、会社員をしながらの議会議員である。現役世代を代表しているその議員はまちづくりの協議にも意見を出し、少し議会が活性化されたようだった。

わが町にも現役世代を代表する議員が増え、いつもの活性化が期待できる体制は整った。
残るは天赦日(てんしゃにち)を待つばかり。

(植西 浩一)